



「楽しみながら健康づくり」老人クラブ体力測定

市内各所で開催中の支え合いの意見交換会

支え合うきよせ
委員会から

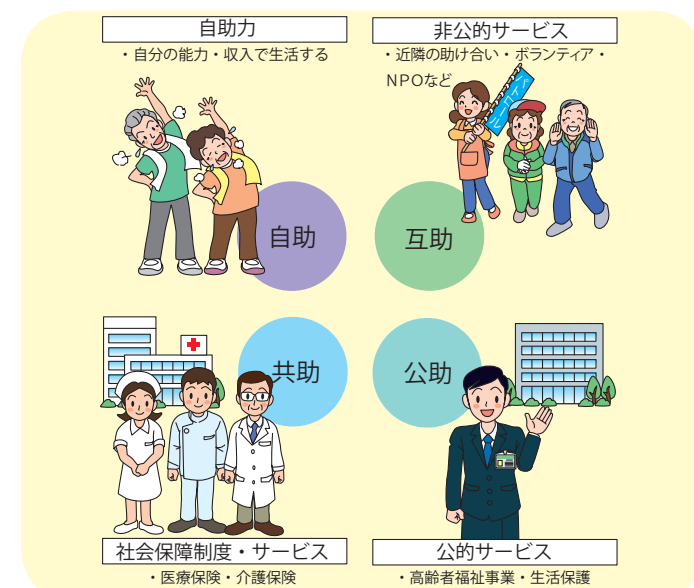
～一緒に作りませんか～ 「支え合う、助け合うまち清瀬」

超高齢社会が進むなか、安心して楽しく暮らせる地域社会を作るため、地域の「支え合い・助け合いのシステムづくり」の取り組みが全国各地で始まっています。

高齢者が住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けるためには、行政、医療・介護・福祉の専門職だけでなく、ボランティア、民生児童委員、NPO、民間企業などがお互いに連携すること、また、市民が助け合い、支え合う体制を作ることが必要となります。

そのため、市では気軽に助け合うことから始める「支え合いの仕組みづくり」に取り組んでいます。この仕組みづくりが市内で活発になるように活動しているのが、『生活支援コーディネーター』と『支え合うきよせ委員会』です。

支え合いの仕組みは、一人ひとりの参加から始まります。支え合い度をチェックして、支え合いの活動に参加してみませんか？



あなたの支え合い度をチェック！

- | | |
|---|--|
| ☐ 道に迷っている様子の人がいたら、声をかける。 | ☐ サークル、地域のお祭り・イベントに参加するのが好き。 |
| ☐ 駅で目の不自由な方、身体の不自由な方が困っていたら、声をかける。 | ☐ ご近所さんと地震や洪水の際、お互いに声をかけ合おうと話をしている。 |
| ☐ ご近所さんと会ったら、あいさつをする。 | ☐ ボランティア活動をしている・してみたい。 |
| ☐ ごみ出しが大変なご近所さんがいたら、手伝いたい。 | ☐ 地域の活動（自治会の役員、PTAの役員など）に協力している。 |
| ☐ 電球の交換や縫い物、草刈り・庭木の手入れなど、出来ることなら手伝いたい。 | ☐ 支え合いの意見交換会、体験会があったら参加したい。 |

- ☒ 0～3個：出来ることから始めてみませんか。
☒ 4～7個：地域の担い手として活躍しませんか！意見交換会、体験会でお待ちしております。
☒ 8個以上：認定証を発行します。担当地域の生活支援コーディネーターにご連絡ください。

支え合うきよせ委員会

地域の支え合いが進むように、市内の団体など（自治会連合会、民生児童委員、シルバー人材センター、商工会、健康づくり推進員、地域包括支援センター、NPO、市民活動を行う方々）の代表者15人が参加し、支え合いの仕組みづくりに取り組んでいます。正式名称は『清瀬市

生活支援・介護予防サービス提供主体等協議体』です。

今年の夏からは「支え合いの意見交換会」や支え合いの体験ゲームができる「支え合い体験会」を市内各所で開催しています。

問合せ 右記の各生活支援コーディネーター



作品協力 川島幸氏「グループホームゆめ」

地域包括ケア特集号

市では、団塊の世代が75歳以上となる2025年をめどに、市の特性に合わせた地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みを始めています。このシステム最大のポイントは、皆さんが住み慣れた地域で切れ目のないサービスを一体的に受けられるよう市区町村が中心となり、「医療」「介護」「介護予防」「生活支援」「住まい」の5つのサービス体制を包括的に整備していくことです。

今号では、現在進めている上記の地域包括ケアシステムに関わる人々や、具体的な取り組みについて紹介します。

問合せ 地域包括ケア推進課福祉総務係 ☎042・497・2056

清瀬市生活支援コーディネーター

生活支援コーディネーターは、困っている人と活動したい人をつなぐきっかけづくりを行い、気軽に助け合うことが地域で広まっていくように働きかけを行っています。また、サロン活動が活発になるような支援も行っています。市で

は、平成28年度に1人のコーディネーターを配置しました。さらに今秋からは3人増員し、清瀬市社会福祉協議会と市内3か所の地域包括支援センターで活動しています。ご相談は、裏面に掲載の各地域包括支援センターまでお願いします。

◆清瀬市全域を担当（清瀬市社会福祉協議会）

氏名：鍵和田 卓也（かぎわだ たくや）
趣味：野球
清瀬への想い：こんにちは！ 介護予防の場づくりや社会参加のきっかけづくりなど、皆さんの「元気」をサポートできるよう取り組んでいます。どうぞお気軽に声をかけください！

◆中里、下宿、旭が丘地区（きよせ清雅地域包括支援センター）

氏名：鈴木 智博（すずき ちひろ）
趣味：音楽鑑賞
清瀬への想い：清瀬生まれ、清瀬育ちです。緑の多い清瀬が大好きです。生活支援コーディネーターとして、さまざまな情報を収集し勉強しています。皆さんと支え合いの仕組みが作れるように頑張っています。

◆上・中・下清戸、元町地区（きよせ社協地域包括支援センター）

氏名：原田 真帆子（はらだ まほこ）
趣味：ダンス・カラオケ
清瀬への想い：幼少期から現在まで、20年以上清瀬で過ごしてきました。自分のふるさとを、誰もがつながり合い安心して生活できるまちにしていきたいと思っています！ そのため、市内の社会資源の情報収集やイベントなどへの参加を積極的に行っています。

◆竹丘、梅園、野塩、松山地区（きよせ信愛地域包括支援センター）

氏名：森 尚哉（もり なおや）
趣味：スキー・登山・子どものムービー作り
清瀬への想い：以前、住んでいてお世話になった清瀬、心温まる気遣いをしてくださった清瀬の皆さんに少しでも恩返しをしたい。皆さんの生の声・心の声を聞けるように、自転車で駆け回って大小に関わらず意見を伺えるように頑張っています。

支え合いの仕組み 社会福祉法人の地域貢献

近くで「ひとまず相談窓口」

「どこに相談していいかわからない」とき、市内32か所の子どもや高齢者などの福祉施設でお話を伺います。内容に応じて、市内の関係機関と連携し支援をします。

場づくりを応援

支援を必要とする人もそうでない人も身近に集い、参加・交流できる場づくりに取り組みます。地域活動を応援するため、法人施設の会議室など、一部の機能を可能な範囲で貸し出します。



ひだまり会議室

わかりあえる人づくり

さまざまな立場の方が暮らしやすくなるよう、福祉の専門家の力を活かして、「福祉に関すること」を分かりやすく伝えていく場を作っていきます。学校や地域の方が集まる場への出張も可能です。



車いすの操作を学ぶ

福祉の情報発信

福祉に関する情報や制度、福祉施設が行う社会貢献活動の取り組みをお知らせし、「安心して暮らせる清瀬」の力となることを目指します。

清瀬市内の社会福祉法人の取り組みについて、詳しくは下記へ。

問合せ 社会福祉法人清瀬市社会福祉協議会 ☎042・495・5333 ☎042・495・5335

✉ shakuyoki116@siren.ocn.ne.jp 🌐 http://www.kiyose-f.net/

イキイキ！ 地域のため 元気づけのため

介護サポーター制度

市内在住の65歳以上の方が、高齢者施設などのお手伝いを通して、元気に暮らしていくことを応援する制度です。

お茶出し、話し相手、演奏披露、囲碁・将棋など誰にでもできる活動がたくさんあります。

《制度の流れ》

1. 介護サポーター登録（社会福祉協議会で受付）
2. 高齢者施設で手伝い（活動先を紹介しします。）
3. 介護サポーター手帳にスタンプをもらう
4. 活動実績を年度明けに報告する（スタンプ数に応じ交付金を交付）

問合せ 左記の社会福祉協議会